

報道機関各位

山雅みそプロジェクトがスタートします！

箕輪町のみそ部に松本山雅ユースアカデミーメンバーが参加し、大豆の栽培・収穫からみそ作りを行う「山雅みそプロジェクト」を行います

日 時

令和3年6月12日（土） 午前10時から正午まで

場 所

箕輪町 上古田地籍 深沢川沿いの圃場

内 容

箕輪町の主催する、種から育てて大豆を生育・収穫し、手作り味噌を作る通年講座

「みそ部」と、松本山雅がホームタウンの地域課題解決として、遊休農地の解消を

目的に実施している「スマイル山雅農業プロジェクト」がコラボレーションし、

本年度通年で豆からみそ作りを行う「山雅みそプロジェクト」が始まります。

初回となる今回は、苗の植え付け作業を行います。

詳細は添付資料のとおりです

添付資料

有

無

産業振興課 未来農戦略係
（課長）高橋英人 （担当）土岐・榎並
電 話：0265-79-3170
F A X：0265-79-0230
E - mail：sangyou@town.minowa.lg.jp

スマイル山雅農業プロジェクト×箕輪町みそ部

山雅みそプロジェクト 企画書

1 プロジェクトの概要

箕輪町では農家数が年々減少しており、2020年には2005年に比べて販売農家数が半減し、農家だけで町内の農地を支え続けることが難しくなる未来がそこまできています。

町内に約1500ヘクタールある農地をどう維持していくか。町ではこの課題に対して2018年に「農業応援団計画」を策定し、従来の生産者・農家の支援に加えて、消費者・飲食店・事業所など農家以外の多様な主体が、「生産者を支えること」「農地を使うこと」に結びつくアクションや関わりしろを作りだすことに取り組んできました。

その一環として、町では毎日食べる「お味噌」を自分たちで作る取り組みを通じて、材料となる大豆を毎年作り続けるアクションを引き出す「農ある暮らしを楽しむ部活動『みそ部』」を2019年から実施してきました。

一方松本山雅では、「スマイル山雅農業プロジェクト」として、同様の問題意識からホームタウンの遊休農地で枝豆「あやみどり」の栽培を通じてアカデミーの選手たちが地域と関わり、地域とともに問題を考えていくアクションを行っています。

<https://www.yamaga-fc.com/wp-content/uploads/2020/05/smileagri.pdf>

そこで昨年からホームタウンとなった箕輪町のみそ部に松本山雅のユースメンバーが参加し、町のみそ部と一緒に「あやみどり」の栽培・枝豆収穫を行い、お味噌づくりを一緒に体験する「山雅みそプロジェクト」を本年度展開することを企画します。

(通年でのみそ部の活動に、松本山雅のユースメンバーが毎回20人程度参加するイメージです)

本プロジェクトを通じて、参加者の皆さんには結果として地域の農の存在と課題を知っていただき、身近に考える機会になればと考えております。

2 事業の目的

町のみそ部の取組に、松本山雅のユースチームが参加し、その様子を町及び松本山雅の広報を通じて拡散することにより、双方以下のメリットを得る。

○箕輪町のメリット

広報によるみそ部の取組や関心の向上、成果品のみそ（山雅初の取組）が町の名前を冠した新しい特産となること、

○松本山雅のメリット

ホームタウンでのスマイル山雅プロジェクトの実績

参加するユースの選手への食育活動

味噌を材料とした、事業活動の展開の可能性

3 参加方法について

箕輪町のみそ部（本年度応募15組）に松本山雅ユースアカデミーのメンバー（各回20人程度）が参加する。

4 スケジュール(雨天翌日)

日程	内容	備考
5月21日	苗起こしの為の種まき	町で実施
6月12日（土） AM 10:00-12:00	苗植え	
8月28日（土） AM 8:00-10:00	枝豆収穫(畑で試食！)	
11月6日（土） AM 10:00-12:00	収穫・豆のたたき出し	
R4年2月12日（土） AM 10:00-12:00	大豆の選別作業	
3月5日（土） AM 10:00-15:00	お味噌づくり作業	

7/10.9/18についても、畑の管理（草取り作業）を実施

5 会場案内

箕輪町 上古田地籍 深沢川沿いの圃場

(箕輪西小学校 (TEL0265-79-2423) から車で3分程度)



6 本件担当

箕輪町役場 産業振興課 未来農戦略係 土岐

電話 0265-79-3111 / 当日連絡先 090-1046-5786